

## 基本情報

---

|      |                    |
|------|--------------------|
| 施設名  | グリーンポート桜木町保育園      |
| 所在地  | 横浜市西区桜木町 7-42      |
| 電話番号 | 045-290-1008       |
| 評価年度 | 平成 28 年度           |
| 評価機関 | 株式会社 R-CORPORATION |

## 評価方法

---

|                                                   |                                                                                                           |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自己評価                                              |                                                                                                           |
| (実施期間)<br>平成 28 年 10 月 28 日～<br>平成 28 年 12 月 10 日 | 個人で評価をしたのち、クラス、部署単位（2～4 名）で摺合せや意見交換。その後、全体会議にて、確認作業とまとめを行う。                                               |
| 評価調査員による評価                                        |                                                                                                           |
| (実施期間)<br>平成 29 年 1 月 30 日<br>平成 29 年 1 月 31 日    | 評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認及び園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行った。幼児の食事の観察を行い、子どもの遊びの様子及び延長保育の観察を実施した。 |
| 利用者家族アンケート                                        |                                                                                                           |
| (実施期間)<br>平成 28 年 11 月 22 日～<br>平成 28 年 12 月 15 日 | 指定のアンケート用紙を、返信用封筒と共に園より各家庭に配布。12 月 15 日までに直接審査機関に郵送して頂く。                                                  |
| 利用者本人調査                                           |                                                                                                           |
| (実施期間)<br>平成 29 年 1 月 30 日                        | 0 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめた。                                                     |

株式会社 R-CORPORATION

## 第三者評価結果報告書

### 《総 括》

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| 対象事業所名    | グリーンポート桜木町保育園           |
| 経営主体(法人等) | 社会福祉法人 ちとせ交友会           |
| 対象サービス    | 保育所                     |
| 事業所住所等    | 〒220-0021 横浜市西区桜木町 7-42 |
| 設立年月日     | 平成 26 年 4 月 1 日         |
| 評価実施期間    | 平成 29 年 1 月 ～ 29 年 3 月  |
| 評価機関名     | 株式会社 R-CORPORATION      |
| 評価項目      | 横浜市版                    |

### 総合評価

#### ●グリーンポート桜木町保育園の立地・概要

グリーンポート桜木町保育園は、地下鉄高島町駅から徒歩 2～3 分にも徒歩圏内の利便性の良い場所に位置し、国道 1 号線と新横浜通りの交差点の一角、八洲学園（通信制）ビル（9 階建て）の 1 階部分にあります。新横浜通りと根岸線の東側は横浜のベイエリアで、新しく開発された地区ですが、園舎が位置する西側には元々の丘陵地帯であったエリアに掃部山、伊勢山などがあり、横浜の文化施設が集まっています。掃部山は地下から湧く水を蒸気機関車の給水に利用していたことから鉄道山とも呼ばれ、大正 3 年に井伊家（井伊直弼）から横浜市に寄付され、掃部山公園となった由緒ある公園で桜の名所としても知られ、公園の一角には横浜能楽堂もあり、グリーンポート桜木町保育園の子どもたちの散歩コースとなっています。近くには県立図書館、県立音楽堂、伊勢山皇大神宮などもあり、横浜の文化に触れる環境が整っています。グリーンポート桜木町保育園は、平成 26 年 4 月に八洲学園大学付属ちとせナーサリーから現在の園に移行し、生後 57 日目から受け入れ、定員 80 名の中規模保育園です。構成では 0 歳児クラス 6 名、1 歳児クラス 12 名、2 歳児クラス 14 名、3 歳児クラス 16 名、4 歳児クラス 16 名、5 歳児クラス 16 名となっており、家庭的な温かい雰囲気の中、一人一人の子どもを大切にし、子ども、保護者との信頼を構築し、子どもの育成に尽力しています。

#### ●グリーンポート桜木町保育園の保育の方針

グリーンポート桜木町保育園は、社会福祉法人ちとせ交友会（以下、法人）の経営です。法人は本部を東京都港区に置き、児童福祉施設、一時預かり、子育て支援拠点、放課後児童健全育成、障害児通所支援等を全国に展開しています。東日本地区では、首都圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）の保育園を運営しています。保育については、ピアジェの発達の理論を基に展開し、発達の理論とは、4つの段階（感覚－運動期、前操作期、具体的操作期、形式的操作期）に、さらに4つの質

的段階（シエマ、同化と調節、均等化、操作）が複雑に変化して行く理論です。法人はこの理論を保育に展開し、ちとせ保育園ステートメントブックにまとめ、保育に対する想いと保育士のスキルアップを図り、園を「Home」として据え、子ども・保護者・保育士の「心の拠り所」となる保育園を目指しています。「Home」の目指していることは、行き届いた安全な環境と、家庭的な温もりの中で、子ども一人一人の発達に合った保育を行い、生き生きと元気に遊び、友だちと育ち合い、自主性、自律性を持った子どもを育てることを目指しています。保育士は研修等により、理論に基づく保育を学び、実践しています。

### 《特によいと思う点》

#### 1. ピアジェの発達の理論をベースにした保育の展開

法人系列全園で保育の基本に「ピアジェの発達」の理論を基に展開しています。この理論は、心理学の人間の思考に関するもので認知発達過程を表し、幼少期から知識等の積み重ねにより人間の認識が発生すると考え、思考の4つの各段階において、質的に異なる発達段階に関係や性質を変化させることにより、認識の発達のみではなく行動も内在化されて発達が進んでいく概念を、子どもの発達や教育に生かしています。職員は、ピアジェの構成論を学びながら、子どもたちの将来を見据えた連続した保育を進め、「遊びく活動の場面」では子どもに適切な環境を提供し、遊びを通して知能の発達を育み、「日常生活の場面」は、さまざまな場面を活用して、自分で考え、判断し、子ども自身で行動できるよう育てています。コンセプトの「Home」のベクトルや、コンセプトを掲げることの重要性を認識し、理念の裏付けとなる理論で保育を展開し、本質にも期待されます。

#### 2. 一時保育を活用した地域子育て支援

グリーンポート桜木町保育園では、1日3名程度の一時保育と、1歳、2歳児を対象にした年間限定保育を受け入れ、現在、1歳児を2名程度受け入れています。園では地域社会への貢献を掲げ、一時保育、年間限定保育はその一環です。地域はオフィスビルとマンション等の高層住宅が中心であり、幹線道路が通り子ども同士で遊ぶには注意が必要な地域であり、また、核家族化や、他地域から移転の若い層も多く、初めての子育ての悩みを持つ方や、急パート勤務者のレスパイトケア等、地域の子育ての悩み等に対し、一時保育は地域から望まれたものであり、子育て支援に尽力しています。子育て支援事業は3歳～5歳児の保育室の一角に部屋を設定し、既存の園児との慣れる様子を考慮しながら保育を行っています。

#### 3. 職員の結束力の強化

グリーンポート桜木町保育園では、職員の結束力の強化に取り組んでいます。結束力強化のベースに、ピアジェの構成論を基本とし、展開には「WAY」の冊子を用意し、職員が常に確認できるようにしています。「WAY」には9つのセクションから成り立ち、「WAY1」はチームワーク、「WAY2」は子ども一人一人、「WAY3」はチャレンジ、「WAY4」はみんなの「Home」について、「WAY5」は仕事・人生を楽しもう、「WAY6」は温かい人間関係、「WAY7」は変化を楽しむ、「WAY8」はNo Border、「WAY9」は魅力ある先生、等、セッションごとにわかりやすく綴

られています。これらは、+C（Plus Chitose point）であり、職員一人一人の総合力が「ちとせ交友会」（法人）の力となり、「One for all, All for one」（一人はみんなのために、みんなは一人のために）を根幹とし、常に仲間のことを意識できるよう導いています。園では、チームで自らの役割を理解し、職員の結束力の強化に取り組んでいます。

#### 《さらなる期待がされる点》

##### 1. 実習生の受け入れの強化

グリーンポート桜木町保育園では、実習生、ボランティアとも積極的に受け入れる姿勢を持ち、体制も整備されています。園の開設は平成26年4月であり、2年半の経過の中で園内体制固めと共に利用者、保護者との信頼関係の構築に尽力されてきたことを考慮し、今後、実習生の受け入れは要員確保のポイントでもあり、現有保育士にとっても新しい保育教育の実態、後進を指導することにより成長、向上が図られる等、効果が見込まれます。29年2月には実習生3名の受け入れを予定し、園長は、実習生の受け入れを機会に、今後さらなる働きかけをして行く意向でいます。法人は多くの保育園を関東地区で展開し、実習校と連携もあると思われしますので紹介を得たり、特に、京浜地区の大学の保育課へ積極的にアプローチを図る等、後進の指導、育成へのさらなる尽力を期待しています。

# 横浜市福祉サービス第三者評価結果

| グリーンポート桜木町保育園 |                    |
|---------------|--------------------|
| 評価年度          | 28 年度              |
| 評価機関          | 株式会社 R-CORPORATION |

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

## 評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

| 評価分類                                                                                                             | 評価の理由(コメント)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  | <p>●保育方針として、法人系列全園で「ピアジェの発達」の理論を基本として保育を実施しています。園を「Home」と据え、保育目標に展開し、園のパフレットや重要事項説明書に記載し、玄関等、保護者の目につきやすいところに掲示して理解を促しています。職員に対しては、洗面所、更衣室等に掲示して常に確認できるようにし、全体会議等を活用して理念を確認し、全職員で目標を共有して保育にあたっています。</p> <p>●保育課程は、自律性を持った子どもの育成をベースに作成し、さらに地域の実態、周囲の環境を考慮し、子どもの発達、最善の利益を第一義として年齢ごとに策定しています。園長は、年度初めに、園の目指すべき方向を職員、保護者に説明し、職員会議、全体会議で目標に沿った保育ができているかを確認しています。</p> <p>●保育課程に基づき、クラスごとに年間指導計画を作成しています。子どもに対しては、年齢に合わせて分かりやすい形で週の目標、毎日の目標を伝えています。子どもの主体的な意見や要望は取り入れるようにし、言語化できない子どもは表情や態度から汲み取っています。また、生活発表会では、子どもの日常生活の発表の場として、子どもの興味あるもの、遊びなどについて保護者に伝える機会とし、子どもの普段の生活の様子を披露しています。保護者に対しては、要望を汲み上げ、英語教育を保育に取り入れました。</p> |
| I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施                                                                                        | <p>●入園前に入園説明会を行い、事前に保護者が記入した児童票を参考に個人面談を行い、遊んでいる子どもの様子を観察し、特性等を確認しています。アレルギーに関しては個別に確認を行って</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |



います。また、個々の児童票は、日々の保育に活用しています。

●新入児受け入れの際は、入園前質問シートの中で案内し、短縮保育（慣らし保育）を実施し、保護者の事情や子どもの様子に応じて対応しています。基本的には全保育士で全ての子どもを見る体制であり、0 歳、1 歳児は個々の保育士との良好な関係を尊重し、子どもが安心できるように配慮しています。在園児への配慮では、主に乳児クラスに対し、なるべく前担任の1 人がクラス担任として持ち上がりを配置するよう考慮しています。保護者への連絡は、0 歳～2 歳児は連絡ノートを使用して連携を密にし、3 歳児以上のクラスはホワイトボードにて保護者に伝え、送迎時にも口頭で子どもの様子を伝えるよう努めています。

●指導計画は、子どもの状況に応じてクラスで話し合い、クラス別に指導計画を作成し、年間、月間、週間ごとにきめ細やかに修正、見直しを実施しています。また、リーダーが中心となって意見交換を行い、評価、改訂を行っています。保護者からの意向、要望は個人面談や連絡ノートを通して子どもの様子等を把握し、意向を指導計画に反映させています。

### I - 3 快適な施設環境の確保



●施設環境について、園では毎日、チェック表、掃除表を基に、清掃、安全管理を実施しています。園舎内は建物の構造上窓の開閉はできませんが、24 時間換気装置が設備され、適切な空調管理が確保されています。また、温湿度の管理では、各クラスに温湿度調整器が設置され、快適な温湿度が保たれており、看護師がチェックを行っています。保育室は、窓から十分に陽光が入り、明るく、強い日差しや午睡時にはロールカーテンで調整して配慮しています。また、立地的な騒音に関しては比較的外の音は園内に影響せず、子どもが落ち着いて遊べる環境になっています。夏場は、ウッドデッキにプールを出して遊ぶ際は、近隣に騒音に対するお断りの文書をポスティングして配慮しています。

●0 歳児用に沐浴設備を備え、温水シャワーも利用して体を清潔に保っています。トイレ清掃については掃除表に沿って清掃を行い、沐浴、温水シャワーの清掃も一緒に実施しています。屋外にも温水シャワーを設置し、プール使用時等に利用し、使用後は掃除を行い、清潔を確保しています。

●寝食の場所については、0 歳、1 歳児は寝食を区別し、2 歳児はスペースを別に設けています。3 歳～5 歳児クラスは、昼食後保育士が掃除を行い、布団を敷いて午睡の空間を確保しています。3 歳～5 歳児クラスは大きな1 つの部屋を低い家具等で仕切り、常に交流できる環境にあり、異年齢で活動を行っています。5 歳児では「赤ちゃん当番」を設定し、0 歳児との交流を図っています。また、5 歳児の全体の様子を確認しながら当番を設け、

|                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                             | <p>給食当番活動も積極的に行っています。1月頃から4歳児は活動を見て自覚を促すようにしています。低年齢児は、パーテーション、ラティス、カーペット等で仕切り、小集団保育を実施し、少人数で落ち着いて遊べる環境作りをしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p><b>I－4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</b></p>      | <p>●0歳～2歳児は個別指導計画を策定し、子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、月案で子どもの姿、ねらいに沿って反省、評価を行っています。幼児の特別な配慮が必要な子どもや障害を持った子どもについても、個別指導計画を作成し、職員間で情報共有を図り、子どもの状況に合わせて柔軟に変更や見直しを行い、保護者とも連携・共有を図っています。</p> <p>●個別指導計画はこまめに手直しし、計画の重要な部分、例えば離乳食、トイレトレーニングの移行等について、保護者と相談し、家庭の状況に合わせながら進めています。</p> <p>●子どもの記録としては、児童票、経過記録に記録し、クラスごとにファイルして全職員が閲覧できる棚に保管し、職員間で共有化を図り、子ども一人一人の発達の過程に応じた対応に努めています。記録は、進級時に次の学年に引き継ぎ、入園時からの子どもの一人一人の成長記録がわかるように記録されています。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p><b>I－5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b></p>  | <p>●障害を持つ子どもについては、個別カリキュラムを設定し、保護者の要望は全職員に周知し、対応できるようにしています。職員は、研修会に参加して最新情報を得、研修後は復命書（報告書）を提出して職員間で学習を行い、報告書は更衣室で閲覧できるようにし、情報の共有化を図り、知識を深めるよう役立てています。</p> <p>●障害児保育のための環境整備では、スロープを設け、障害者用多目的トイレも設備しています。専門機関との連携では、地域療育センターと連携を図り、西区福祉保健センターこども家庭支援課、西区保健師、児童相談所、ケースワーカー、医療機関等とも必要に応じて相談、指導を受けられる体制があります。年2回、地域療育センターの巡回や、保健師の訪問を受け、助言や指導を保育に生かしています。職員は、障害児保育に関する研修を受講し、研修内容は職員間で閲覧し、知識の共有化を図っています。</p> <p>●虐待の定義については、法人作成の『行動の規範集』に明記され、全職員に周知しています。また、園内研修において読み合わせを行い、理解を深め、意識を高めています。虐待予防・早期発見については、職員は、子どもの健康観察を行い、無断欠席が続くなどの心配な状況があった場合は、連絡を入れて家庭の様子の確認をし、必要に応じて関係機関と連携し、早期対応を心がけています。</p> <p>●アレルギー疾患のある子どもの除去食対応では、かかりつけ医の診断書と除去食指示書を基に、適切な対応を行っています。ア</p> |

|                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                               | <p>アレルギー児への対応が必要な場合は、職員間で情報を共有し、アレルギー食の提供について確認しています。前月末に翌月献立および個別除去表を、アレルギーを持つ児の保護者に配布し、担任保育士、栄養士、園長または主任で面談の上、除去、代替食を確認し、適切に対応しています。毎朝、アレルギー食の確認を栄養士・担任・園長または主任で行い、給食時に複数の職員でダブルチェックを行い、誤配膳、誤食がないよう徹底しています。</p> <p>●文化が異なる子どもへの対応については、子どもたちに言語・表現・食事や生活習慣、考え方の違いを伝え、自然に身近に様々な文化に触れられる環境作りに工夫し、尊重しています。現在、外国人子女が多く在園し、同言語が話せる子どもと関わることで、安心感が持てるよう対応を心がけています。また、日常最低限必要な言葉を職員が習得し、コミュニケーションに役立てています。外国籍に係わる保護者については、必要に応じて配布物にルビを付け、子どもに通訳をお願いする等、個別に説明して対応しています。また、必要があれば通訳ボランティアの依頼ができる体制にあります。</p> |
| <p><b>I - 6 苦情解決体制</b></p>  | <p>●保護者からの苦情などに関して、苦情解決に関する規定および苦情申出書を整備し、入園のしおりに「苦情解決制度について」を記載し、苦情解決についての案内を保護者に配布しています。また、苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員、連絡先を明示し、園内にも掲示していつでも直接連絡できるようにしています。権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口も周知しています。自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して職員から声かけを行う等、利用者満足に取り組んでいます。保護者からの意見は、行事ごとのアンケートから意見等を抽出し、保育に生かしています。</p> <p>●第三者を交えた苦情解決の体制を整え、外部の権利擁護機関（横浜市の苦情対応窓口、横浜市福祉調整委員会等）と連携を図っています。苦情・要望があった場合は、職員会議で苦情の解決策を検討し、速やかに対応するよう努めています。過去のデータ（事故報告書等）は苦情ファイルに蓄積および整理し、問題解決と再発防止に活用しています。</p>                                                |

| 評価分類                                                                                                    | 評価の理由(コメント)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>II-1 保育内容 [遊び]</p>  | <p>●子どもが自主的に活動できるよう、玩具等は子どもが出しやすい位置に設置し、興味ある玩具等を子ども自身で取り出せるように工夫しています。年齢に応じた玩具を提供し、子どもが飽きないように入れ替えも行っています。子どもがそれぞれの遊びに集中できる環境作りでは、牛乳パックやマット等を活用してコーナーを作り、子どもの様子を見ながら柔軟に落ち着ける場所作りや、遊び込める時間を考慮して対応しています。</p> <p>●「生活発表会」では子どもの日々の活動の集大成と捉え、子どもの遊びと生活での自由な発想を生かしています。発達に応じて、ルールのある遊びを取り入れ、ルールを守ることの大切さや、ルールを守って友達と遊ぶ楽しさを知るように取り組んでいます。また、同ビルの4階にある八洲学園の多目的ホールでは運動会も行い、日頃の活動にも広い多目的ホールを活用しています。</p> <p>●動植物の飼育や栽培の取り組みでは、子どもと一緒に苗を買に行くなど植物への興味につなげ、園庭で苗を植えて野菜を栽培し、水やりや成長の観察を行い、収穫の喜びを体験し、調理活動や、給食に使ってもらう等、食育活動につなげています。飼育では、かたつむり、カブト虫を飼育しています。自然との触れ合いでは、散歩先の掃部山公園に出かけて自然に触れ、どんぐりを拾ったり、四季折々の自然に触れる機会を設けています。地域の方との交流は園の立地から希薄ですが、行き交う方と挨拶を交わしています。</p> <p>●子どもが自由に自分の気持ちを表現できるように、保育室に画材や用具、廃材を用意し、幼児は個人の道具箱（自由画帳、クレヨン等）があり、自由に遊びや制作に取り組めるようにしています。園ではリトミックを取り入れており、乳児も楽しめるよう年齢や発達に応じて無理なく楽しめるように実施し、表現する喜びにつなげています。また、墨や筆を用い習字などの活動も行っています。</p> <p>●子ども同士のケンカの場合は、保育士は、ケガにつながらないよう見守りながら介入のタイミングを見極め、子どもが自分の気持ちを伝えられるよう、また、子ども同士で話し合いができるよう援助しています。異年齢同士の関わりでは、年長児が「赤ちゃん当番」（年度に応じて）として0歳児保育室に出向いてお世話をしたり、夕方、1歳児が幼児クラスに遊びに入る機会などを多く設けています。職員は子どもと信頼関係が構築できるよう、常に公平に温かい態度、温かい言葉遣いで子どもに接しています。</p> |

|                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                       | <p>●健康増進の工夫では、天気の良い日はできる限り散歩に出かけ、室内では手作り遊具やマット、トンネル等を用い、這う・またぐ・くぐる等の運動が効果的に行えるように工夫し、運動能力が高められるよう努めています。戸外遊びの紫外線対策では、襟付き帽子を着用し、また、アレルギー児に配慮し、虫よけ対策では手製の虫よけスプレーを使用しています。子どもの健康状態は、既往症に配慮しながら、子どもの体調に合わせ室内遊びや安静に過ごせるようにしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>Ⅱ－１ 保育内容〔生活〕</p>  | <p>●食事について、子どもの一人一人の食事量や喫食状況を把握し、個別に量の調節をして完食の満足感を味わえるようにしています。5歳児は自分で盛り付けを行っています。乳児の授乳や離乳食は、保育者が子どものペースに合わせて行い、無理強いしないようにしています。園の厨房は、子どもたちが調理の様子が見られる構造になっており、調理担当と話をする等、食育につながっています。</p> <p>●食への関心を持つよう、苗と一緒に買いに行き、苗を植え、栽培から収穫、調理体験を大切に、年長児は当番活動として、メニューの確認や、配膳、下膳の手伝いを行っています。献立は、行事食や、ご当地メニュー、季節感ある旬の食材を取り入れた献立を提供し、食事では異年齢で食事をする機会を設け、雰囲気を変えて楽しく食事ができるように工夫しています。食器はメラニンの食器を使用し、食具は年齢、発達に応じて使用し、スタッキング皿も採用しています。</p> <p>●子どもの喫食状況に関して、給食会議を開催し、喫食状況を話し合い、クラス担任から状況を把握し、子どもの食べ具合から調理方法（切り方・盛り付け・固さ等）を工夫して対応しています。栄養士は、給食時に子どもたちの食事の様子を観察して喫食状況、お代わりの状況等を把握しています。子どもたちの調理活動の際は、調理担当者は白衣とクック帽で参加し、楽しい雰囲気作りに貢献しています。</p> <p>●献立表は、保護者に前月に事前に配布し、給食内容は毎日サンプルを提示し、給食日よりでは、旬の食材に関する豆知識や季節に応じたレシピを紹介し、献立の解説も掲載し、保護者へ食の興味・関心につなげています。また、献立表には三色食品群に分けた食材の内容を明示し、家庭でもバランスのとれた食材、食事を促しています。保育参観時、乳児については離乳食の与え方を見学してもらい、試食できる機会も設けています。</p> <p>●午睡時は、睡眠環境に配慮し、保育士は子守唄をうたったり、背中をトントンしながら安心して心地良く眠れるようにしています。家庭の生活状況を考慮しながら、眠れない子どもは無理強</p> |

|                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                      | <p>いをせず、休息の時間として静かに過ごすようにしています。</p> <p>乳幼児突然死症候群（SIDS）予防では、0歳児は5分ごと、1歳児は10分ごとにブレスチェックを実施しています。5歳児は、午睡時間を段階的に徐々に午睡をしない習慣作りを行い、2月からは午睡をなくし、就学に向けた環境作りをしています。</p> <p>●排泄については、個人差を尊重し、保護者と連携を図り、子どもの排泄チェック表一覧をトイレに貼り、一人一人のリズムを捉えながら、トイレトレーニングを進めています。排泄に失敗した際は、子どもの羞恥心に配慮し、安心する言葉かけを心がけ、温水シャワーを利用するなど、気持ち良く過ごせるようにしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>    | <p>●健康管理では、危機管理マニュアルに健康管理マニュアルを備え、毎朝、検温を書き込める用紙を作成し、子ども一人一人の健康状態を把握し、既往症については入園時の記録を基に継続して経過を記入し、確認しています。看護師は毎朝・夕にクラスを巡回し、子どもの健康状態を確認し、健康管理を行っています。歯磨きについては、歯科医師が来園の際に歯の大切さや歯磨き指導を行い、保育士は継続して指導、確認に努めています。</p> <p>●健康診断・歯科健診を実施し、結果は子ども一人一人に記録を残し、保護者にはその日の内に知らせ、必要に応じて口頭で伝えています。</p> <p>●感染症等について、登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応は、入園のしおり（重要事項説明書）および健康管理マニュアル内に明記し、保護者へは入園説明会で説明しています。毎月、保健だよりを発行し、感染症が流行する時節には流感の注意すべき点等の情報を保護者に提供しています。感染症が発生した場合は、園内での感染症蔓延に注意し、感染状況を掲示ボードで周知し、注意喚起を図っています。保育中の熱発に関しては、38度を基準とし、速やかに保護者に連絡し、お迎えまで事務所で個別対応しています。最新の感染症情報は、看護師から各クラスに随時、情報を提供して共有し、横浜市、西区役所からもメールで入手しています。</p> |
| <p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  | <p>●衛生管理マニュアルは、全職員が確認および共有し、日常的に確認し、年1回、見直しを実施しています。また、衛生管理マニュアルに沿って研修を実施して職員間で確認しています。清掃方法ではペーパータオルを使用し、園舎内の衛生・清掃を実施し、各クラスに嘔吐・汚物処理セットを備え、ノロウイルス感染予防に備えています。トイレには適切な処置ができるよう、処置方法の手順を示したプリントを貼り出しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・ 安全管理 [安全管理]



●安全管理では、安全管理に関するマニュアルを備え、地震等を想定して棚は作り付けとし、家具には耐震マット、転倒防止装置を設置して安全対策を講じ、保育室内は低い棚を採用しています。毎月、さまざまな想定の下、避難訓練を実施し、園舎は八洲学園の建物内であり、非常時における設備がなされています。緊急時の対応に関する体制は全職員に周知を図り、事故や災害時に適切に対応できるようにしています。職員は、園内研修で救急救命法のシミュレーションを実施し、全職員が身に付けるよう努めています。緊急連絡体制は、職員、保護者に一斉連絡が可能なメールシステムを導入し、緊急時通信連絡訓練（災害用伝言ダイヤル（171）体験、訓練用一斉メール配信）も実施しています。

●事故やケガについて、事故報告書、ヒヤリハットに記入し、職員会議で報告し合い、事例からリスクを学び、対応策を講じ、全職員で共有して再発防止に努め、改善策を実施しています。通院利用する医療機関は、一覧表を作成し、連絡体制を整え、事務室に貼り出し、事故発生時には速やかに事態に対応できるようにしています。保護者への連絡については、ケガの部位、軽重にかかわらず状況を報告し、記録しています。

●外部からの侵入に対して、玄関にカメラ付きインターフォンを設置し、来園者の確認ができるようにしています。園は、警備会社と契約し、園舎前には交番もあり、定期的にスクールサポーターに巡回してもらい、不審者情報も得ています。また、西区役所からも FAX にて配信され、情報を入手しています。

## Ⅱ－３ 人権の尊重



●園長は、『職員の行動の規範』集を活用して、園内研修で読み合わせをして理解を促しています。また、就業規則の「WAY」の項に「子ども一人一人の尊重」を定め、大切にし、人権に関する研修を実施して研鑽を図っています。保育士は、子どもの気持ちや発言を肯定的に受け止め、子ども自身で素直に言葉に出せるよう保育に努め、一人の個として尊重することを全職員で共通認識を図っています。

●子どもが友だちや職員の視線を気にせず過ごせる場所として専用の場所は用意していませんが、玄関ホールや事務室（医務室）を必要に応じてプライバシーを守る場所や、1対1で話せる空間として活用ができます。クールダウンでは事務室を利用しています。保護者の相談等では、プライバシーを確保する場所として、事務室を活用しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、『行動の規範集』を用い、園内研修で随時読み合わせを行い、確認し、定義・目的について周知しています。ボランティアや実習生にもオリエンテーションで守秘義務の説明、指導を行っています。個人情報に係

|                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                         | <p>わる書類は手渡しをし、利用者の写真など肖像権に関しては保護者に承諾を得てから掲載するようにしています。個人情報に記載されている文書・記録は、施錠できる書庫に保管、管理をしています。</p> <p>●性差に関する配慮では、遊びや行事の役割、持ち物や服装での区別や、順番、グループ分けや整列も性別で区分けすることはありません。また、遊びや制作での色決めなどは子どもが好きな色を選択できるように配慮しています。子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現をしないようにしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p>  | <p>●保育の基本方針や園目標は、パンフレットや入園のしおり（重要事項説明書）、ホームページに明記しています。保護者に対して、入園説明会や保育参観（５月）後の懇談会で資料を配布して説明を行い、玄関にも掲示して理解を促しています。また、園だより、クラスだよりを発行し、保育のねらいを記載し、「今、園でやっていること」、「できること」を記載し、家庭へ提案するなど、園の理解につなげています。</p> <p>●園生活での様子や活動内容は、乳児クラスは連絡帳を活用して伝え、口頭でも伝えるよう心がけ、幼児クラスでは、ホワイトボードで保護者に伝えています。保護者からの意見も連絡帳、口頭を通して聴いています。また、保育の様子は写真を掲示して知らせ、保護者にわかりやすく伝えています。保護者との連絡、伝達事項は、職員間で共有を図り、伝え漏れのないように保護者に情報を伝えるように努めています。</p> <p>●個人面談は、定期的（年２回）に実施し、また、保護者に声を掛けて随時、面談を行う場合もあります。保護者の相談については、事務室を活用し、面談は相談を受けた保育士が行い、適切に対応できるよう園長、主任から助言が得られる体制を整えています。相談内容は記録し、必要に応じて継続的なフォローができるようにし、相談内容によって法人と連携し、顧問弁護士やアドバイザーの助言を受けることができる体制を備えています。</p> <p>●園生活に関する情報は、毎月園だよりおよび定期的にクラスだよりを発行し、その日の保育の様子は乳児では連絡ノート、３歳以上はホワイトボードで知らせしています。各クラスにデジタルカメラを置き、園外活動、子どもの生活等を保育士が収め、掲示して保護者が閲覧できるようにし、また、メールシステムを活用して定期的に写真を配信する等、様子が伝わりやすい工夫をしています。各クラスの保護者懇談会では、各担任が保育の流れ、進級に向けての活動等を具体的にわかりやすく説明しています。</p> |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>●保護者の保育参観について、年度初めに年間行事予定表を配布し、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。保育参観は年2回実施し、複数日を参観期間として設定し、出席しやすいようにしています。保育参観や保護者懇談会（後、面談）に出席できなかった保護者に対しては、資料を渡し、後日改めて面談を実施するよう配慮しています。</p> <p>●園には保護者会組織は無く、卒園のアルバムも園で制作しているので、卒園に係わる保護者の集まりに園の保育室を貸し出す機会はありませんが、保護者から要望があれば応じるつもりでいます。保護者の活動に関して、チラシ等の掲示を求められた際には応じています。一時預かりの保護者からパンフレットを預かり、園に設置したケースもあり、保護者と良好な関係作りをしています。</p> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 評価領域 III 地域支援機能評価領域

| 評価分類                                                                                                                         | 評価の理由(コメント)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>III-1 地域のニーズに応じた<br/>子育て支援サービスの提供</p>  | <p>●地域の子育て支援サービスのニーズを把握する取り組みでは、相談事業を通して園見学者や一時保育の保護者からニーズの把握に努めています。また、戸部公園で開催される西区民まつりに年長児の有志が参加し、みなとみらいで行われるさくらフェスタにも参加しています。西区役所主催の子育て関連施設連絡会（小規模保育園、横浜保育室、認可保育園等）に園長が参加し、地域の子育て支援ニーズの把握に努めています。連絡会のプロジェクトである子育て指針の作成にも参加しています。</p> <p>●地域の子育てニーズは、園長が地域の会議に出席し、その情報は職員に周知して話し合い、次年度の計画に役立てています。地域の子育て支援サービスでは、交流保育、一時預かり、相談事業を実施しています。また、戸部コミュニティサロンで行われる育児相談の手伝いを行い、6月に行われる戸部サロンに出前保育の案内をしています。</p> |
| <p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>             | <p>●地域住民に対する園の情報提供については、子育て支援拠点（スマイルポート）に園のポスターを掲示し、育児支援に関する情報を提供しています。西区民まつりの際もポスターを貼り、育児支援に関する情報を提供しています。また、園見学者等の利用者に園の情報を配布しています。育児相談は実施していますが、週の相談曜日を決めては実施していません。育児支援のお知らせは、西区の子育て情報サイト、広報よこはま西区版等に掲載し、情報提供しています。</p>                                                                                                                                                                               |

|  |                                                                                                                                     |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>●相談内容による関係機関との連携では、近隣の医療機関、地域の団体等の連絡先リストを整備し、関係機関・団体（西区こども家庭支援課、区の保健師、連絡会、中部地域療育センター、児童相談所、警察、嘱託医等）とは日常的に連携を図り、担当は園長となっています。</p> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 評価領域 IV 開かれた運営

| 評価分類                                                                                                                  | 評価の理由(コメント)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <p>●地域への園の理解促進のための取り組みとして、行事（夕涼み会、運動会）に地域の方々を招待し、園の取り組みや子どもの様子を見てもらう機会を設け、地域の西区民まつり、みなとみらいのさくらフェスタ、横浜駅前のシェラトンホテルのX'masツリーの展示に参加しています。また、幼保小との交流、同ビルの八洲学園高校と交流を図っています。小学校との連携では、年長児と小学生の交流を29年2月に予定しており、園長は小学校へ授業参観に行く等、今後につなげています。公立保育園園長や町内会長から地域交流に関する情報を得、積極的に参加するよう努めています。近隣の横浜保育室アミー園には園庭・園舎開放を行っています。</p> <p>●子どもと地域との交流では、地域の文化・レクリエーション施設等の利用を行い、アンパンマンミュージアム、能楽堂、沢渡の防災センター等で地域の様々な人と交流しています。また、横浜保育室アミー園、八洲学園高校、介護老人保健施設（ハートケア）との交流の機会を設け、掃部山公園などへ散歩に行く途中、地域の人たちと接する機会があり挨拶を交わしています。</p> |
| <p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p>        | <p>●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、西区の広報誌、園のホームページに掲載しています。西区役所には一時保育のパンフレットを設置しています。また、「ヨコハマはびねすぽっと」や、西区委託のNPO法人が発行する冊子や新築マンションの広告等に情報を提供しています。園見学者にはパンフレットを渡し、積極的に職員体制・保育のサービス内容の情報を提供し、必要に応じて料金等の詳細を説明しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p>         | <p>●ボランティアの受け入れでは、手引きを用意し、高校生のインターンシップでのボランティアを受け入れています。ボランティア受け入れ担当を定め、手引きに沿って事前にオリエンテーションを行い、子どもの接し方や約束事項等を説明し、理解を促しています。終了後は、意見を日誌に記録し、運営の参考にしています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>●実習生の受け入れでは、実習生受け入れの手引きにより、事前オリエンテーションを行い、実習生本人の希望を聞いて受け入れ担当（主任および担当クラスの保育士）を決め、保育方針・心得・利用者への配慮、留意事項を説明し、理解を促しています。受け入れにあたっては、子どもたちに伝えると共に保護者に周知しています。実習では、依頼校の希望やプログラムの指定を受け、見学実習・保育実技を実施しています。最終日には反省会を行い、意見交換から実習生本人に役立てるのみでなく、日頃の保育に役立てています。</p> |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類                                                                                                    | 評価の理由(コメント)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>V-1 職員の人材育成</p>     | <p>●必要な人材の補充は法人本部で採用し、パート職員については地域で採用しています。園では人材育成計画を基に、一般職、専門職の目標管理シートを活用し、職員個々に作成および目標を設定し、年度末にシートを基に園長と面談を行い、達成状況等を確認して反省点を明確にして次の課題につなげ、資質向上を図っています。また、全職員がさまざまな研修に参加できる体制を整え、推進しています。</p> <p>●職員、非常勤職員の研修体制については、法人で全体研修を実施し、非常勤職員の場合は時間内での出席にて費用も負担しています。理論園内研修は非常勤職員も参加し、テーマを決めて定期的に実施しています。外部研修は経験年数や役割に応じた知識・技術を身につけることを目的にして受講を促し、受講後は復命書（報告書）を提出し、復命書は全職員が閲覧できるよう共有化を図り、個々の質の向上に役立てています。また、交流保育では、保育理念の共有化をねらいとして実施しています。</p> <p>●非常勤職員の配置や業務内容については、常勤職員を担任とし、非常勤職員との組み合わせにおいて非常勤職員の指導にあたり、非常勤職員と職員間でコミュニケーションを図り、園の円滑な業務につなげています。また、マニュアルをいつでも確認できるようクラス、事務所に備え、必要な知識・情報を提供しています。職員間の伝達事項については、日常は伝達ノートを用い、朝・夕は延長ノートを活用して全職員で共通理解を図っています。</p> |
| <p>V-2 職員の技術の向上</p>  | <p>●毎年、自己評価を行い、職員は目標管理シートで振り返りを実施し、改善に努めています。法人系列園、公立保育園と交換研修を実施し、他園の保育参観や他園の保育士と意見交換を行うことで、自園の保育に生かしています。また、西区役所企画の「オープン幼・保月間」の受け入れ園として職員の研鑽の機会につなげ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                  | <p>ています。</p> <p>●園では、目標管理シート、月間・週案・日案に自己評価の書式を設け、改善に努める仕組みを整えて職員の自己評価に取り組み、併せて年間指導計画書に沿って振り返り、反省を行い、今後の保育につなげています。振り返りは保育のねらいに沿って実施し、その経過において園の課題を明確にし、課題を重視して改善に取り組んでいます。保育所の自己評価は公表しています。今年度は第三者評価を受審し、職員全員が自己評価票に自己の振り返りと共に実施し、協議を行い、園全体の現状を把握し、改善課題を抽出して取り組みました。</p> |
| <p><b>V-3 職員のモチベーション維持</b></p>  | <p>●階層別のキャリアパスイメージを設定して期待水準として明文化されます。「目標管理シート」を使った目標管理も行っています。園の業務の担当制については、各クラスのリーダーに可能な限り権限を委譲して任せています。園長は、定期的に全職員と面接を行い、園への要望・質問について面接シートに記入の上、面談を実施し、個々の職員の心情、満足度等を把握するよう努めています。また、要望に応じて理事長面談も行っています。園長は、職員一人一人の技術・知識が深まるように支援に取り組み、職員のやりがいにつなげています。</p>           |

## 評価領域 VI 経営管理

| 評価分類                                                                                                               | 評価の理由(コメント)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p>  | <p>●職員の守るべき規範は、「職員の行動の規範」・「基本行動マニュアル」・「就業規則」に明文化され、職員に周知徹底を図り、職員は守るべき倫理を遵守しています。法人では情報共有システム「アルリット」を導入し、法人系列全園で情報を共有し、不適切な事案を含む様々な情報を得、職員に周知し、研鑽を図る機会に活用しています。</p> <p>●環境整備では、環境方針を定め、環境フローチャートを作成して実践しています。園内に分別用のゴミ箱を設置してゴミの分別を行い、子どもたちも各保育室のゴミの収集を当番で行っています。ゴミは同ビルの産業廃棄物収集時に出し、生ゴミも業者に回収してもらっています。省エネ対策としては、節電や、コピー紙の裏紙を使用して実践し、牛乳パック等をリサイクルで制作活動に活用しています。緑化推進では、園庭のプランターでの栽培で緑化を進め、水道局の緑化事業に参加を申し込み、取り組む予定でいます。</p> |

## VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



●理念、基本方針は明文化し、園内に掲示し、来園者や保護者などが常に目に触れるようにし、職員に対しては日常的に目に触れる場所に掲示しています。園長は、リーダー会議や行事等で園の目標と共に、理念、基本方針について説明し、全職員で確認しています。また、園長は、日常の保育サービスの中で反映できているかを確認し、職員の面談時に保育理念や基本方針の理解度を確認し、目標管理シートにより園目標や保育姿勢が反映されているかを確認し、意識統一に努めています。

●重要な意思決定については、園長は、保護者に目的・決定理由・内容・経過・計画等をお知らせ、園だよりを活用して理解を促しています。英語導入時には保護者の要望を聞いた上で、決定を行いました。園内の決定に関しては、保育課題を解決していくよう、異なる部門の職員において会議を行い、組織全体で取り組んでいます。

●主任クラスの育成は、法人の計画的なプログラムにより、階層別の研修に参加し、外部研修の受講も勧めています。主任は、2ヶ月ごとの職員のシフト表を作成し、各クラスの業務状況を確認および把握に努め、調整を図っています。また、各職員の健康に配慮し、悩みや相談を受け、園長と共に心身の状態の変化に配慮する等、まとめ役およびパイプ役となり円滑な園運営に尽力しています。また、クラス会議に参加し、助言、指導を行っています。

## VI-3 効率的な運営



●事業運営に影響のある情報については、西区内の園長会議、法人の園長会議、横浜市・西区の情報、横浜福祉ナビ等から動向や運営に影響ある情報収集を行い、リーダー会議で伝えています。月1回、法人園長会では運営面での重要な改善課題について経営コンサルタントから助言を受け、課題の解決を図っています。

●理事会で法人全体の中・長期計画、運営のサービスプロセス、ビジョンを決定し、報告を受けています。前年度の事業報告、今年度の事業計画は理事会で報告し、今後の組織拡張に備え、必要な人材（エリアマネージャー、カウンセラーの配備等）の確保に着手しています。外部の機関や専門家などからの意見は、法人顧問弁護士、カウンセラーから相談・協力を得、運営に生かして取り組んでいます。

28 年度 福祉サービス第三者評価 本人調査結果報告書

グリーンポート桜木町保育園

(株)R-CORPORATION

|       |                                                                                                                                          |                           |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| ●調査日程 | 観察調査                                                                                                                                     | 平成 29 年 1 月 30 日・1 月 31 日 |
| ●保育観察 | 評価調査員 3 名（1 名事務局）で全クラスの視察、観察を行いました。生活の保育観察を行い、午睡の様子と保育観察を継続する中、食事場面も観察し、保育士のかかわり方、園児の様子観察を行いました。各年齢については 1 日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。 |                           |

■0 歳児～5 歳児の子どもの観察

| クラス（年齢） | 保育の環境、子どもの様子について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0 歳児    | 保育室は、玄関から廊下を挟み、左側に乳児保育室、右側を幼児の保育室となっています。0 歳児の保育室は 1 歳児の保育室と低い棚やパーテーションで仕切られ、寝食は区別しています。コーナー分けを行い、子どもたちは自由に自分の好みの場所で好きな玩具で遊んでいます。調査当日は天気恵まれ、掃部山公園へ 3 歳児以下の園児で散歩に出かけ、0 歳児はお散歩用ワゴンに乗り、風の冷たさで頬を真っ赤にしながら楽しく出かけました。掃部山公園の登山道は 4 本くらいあり、0 歳児は他の年齢児とは別コースで登り、0 歳と 1 歳児は頂上の下の公園で遊びました。子どもたちはワゴンから降りて、それぞれよちよち歩きながら草花に興味を持ちながら遊び、保育士と一緒に歩行の練習を行っていました。散歩後は水分を補給して食事、午睡を行い、子どもたちのぐっすり満足した寝顔を見ることができました。午睡から覚めると、保育士が穏やかに見守る中、自由に思い思いに安心して遊ぶ姿を観察できました。 |
| 1 歳児    | 1 歳児は行動範囲も広がり、意思を持って遊ぶ姿が見られ、コーナーも目的を持ったコーナー作りがなされ、子どもはそれぞれ思い思いにコーナーで遊び込んでいる姿を観察できました。掃部山公園のお散歩へ出かけ、お散歩か                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>ら帰ると、元気良くおいしく食事を摂り、1歳児の保育室も寝食は区別されており、午睡も安心して寝入る様子を観察できました。1歳児は元気が良く、いろいろな物に興味を持ち、友だちと玩具で遊んだり、片言で話し、保育士が言葉を添えながら仲良く遊ぶ姿も確認できました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 2歳児 | <p>2歳児の保育室は独立した保育室になっており、他の保育室とは完全に独立した部屋作りで、他年齢児の保育室作りとは違いますが、2歳児という年齢が幼児へのステップとなる位置づけを行い、機能するよう進めています。保育室は十分なコーナ分けを可能とし、中央に円形で子どもが中に入れるソフトクッションを設置し、子どもたちは喜んで楽しそうにクッションの中に入って遊んでいます。2歳児は意思が表れてきており、好みもあるようで、好きな玩具で遊び、一人で遊び込んでいる子どもも見かけられました。食事、午睡は別々に行い、保育士とお話しながら楽しく食べている姿が見られました。帰りまで、自由遊びをしながら、保育士に絵本を読んでもらうなど、楽しく過ごしている様子を観察できました。</p>                                                                                                                                                      |
| 3歳児 | <p>3歳～5歳児は大きい保育室を年齢ごとに、低い棚や間仕切りで3つにクラス分けが行われています。調査当日の朝はリトミックが行われ、先週のリトミックで行っていた続きを行い、言葉に合わせて楽器等を叩いて、言葉とリズムを楽しんでいます。子どもたちは「もも」、「ステーキ」、「たこやき」などの言葉をリズムカルに言い、言葉に合わせたリズムを表現しています。リトミックの後はお散歩で掃部山公園へ0歳～2歳児と一緒に行きました。掃部山公園の山頂の広場は上下に大きく2面あり、3歳は0歳、1歳児とは別に上の公園で遊びました。公園には松ぼっくりがたくさん落ちていて、子どもたちは大喜びにわたしもぼくもと、たくさん拾って遊び、その後はみんなで長縄飛びで遊びました。長縄を保育士が持ち、子どもが楽しめるよう元気よく声をかけながら、子どもは1回だけ飛んだり、タイミングを見ながら何回か飛べる子どもや、挑戦する子どももいたり、保育士と子どもと一緒に楽しく遊ぶ様子を観察することができました。園に帰ってからの食事はとてもおいしかったようで、元気よく食事を摂る風景が確認できました。</p> |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 歳児 | <p>4 歳児の部屋の窓側には一時保育室が設けられており、保育士が子どもの慣れ具合を見ながら一緒に遊んでいます。朝は、リトミックを行い、ドレミの音階を体で表現していました。八分音符「ー（ティー）」、四分音符「ー（ター）」、二部音符「ー（タァーン）」と、リズムを付けて表現し、繰り返すことで、子どもたちの聞き分ける耳が育っています。子どもたちは体で表現を行い、リズムを楽しんでいる喜びが伝わります。その後、リトミックの先生が「ある曲」をピアノで演奏すると、その曲での子どもたちの「動作」が決まっており、「A の曲」を弾くと、子どもたちは四つん這いで前へ進みます。先生が「B の曲」を弾くと、子どもたちは転がり、曲とリズム動作がシンクロします。子どもたちは音階を理解し、決められた動作を個々に楽しんで個々に表現しています。リトミックの先生も子どもたちを褒め、リトミックは大成功に子どもたちの満足そうな面々が印象的です。</p>   |
| 5 歳児 | <p>朝は、リトミックを楽しみ、元気いっぱいの 5 歳児をリトミックから確認することができました。5 歳児の部屋は厨房に隣接しており、昼食は一旦、5 歳児の部屋の脇に配膳ワゴンを準備してから各保育室に運搬する体制となっています。乳児の食事を乳児担当の保育士が受け取りに来たり、3 歳、4 歳児の配膳ワゴンはその後、少し時間を置いて配膳される等、5 歳児は給食の当番を行っていますが、その流れを見て食育へのつながりや、当番の意識に役立っています。5 歳児の当番では、食事の準備、盛り付け、配膳、下膳を行い、しっかり行われています。食事前にはメニューを確認しています。最年長児としての意識の芽生えを当番からも確認することができました。現在、大きい部屋を低い棚等で仕切り異年齢保育には適していますが、クラス別保育が難しい面もあり、来年度から仕切りをもっとはっきりさせる予定であり、5 歳児同士、相互の取り組みが期待されます。</p> |

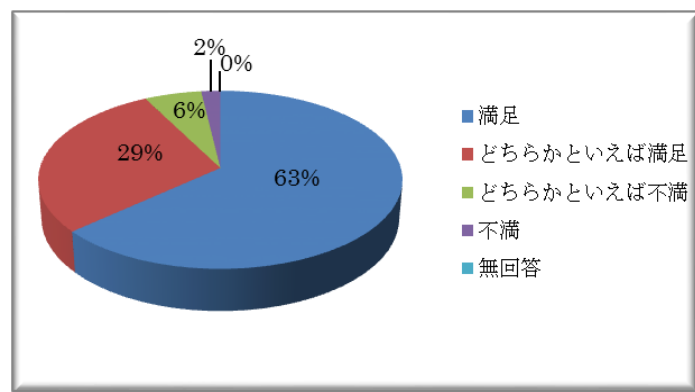
## 【グリーンポート桜木町保育園 利用者アンケートの特徴】

| 実施年度 / 評価項目手法    | 28年度 / 横浜市版                  |
|------------------|------------------------------|
| アンケート調査対象        | グリーンポート桜木町保育園利用者家族（配布世帯数 50） |
| 有効回答数            | 30 世帯                        |
| 世帯総数に対する回答者割合（％） | 60％                          |

| 0 歳児 | 1 歳児 | 2 歳児 | 3 歳児 | 4 歳児 | 5 歳児 |
|------|------|------|------|------|------|
| 4 世帯 | 4 世帯 | 6 世帯 | 6 世帯 | 4 世帯 | 5 世帯 |

未記入 1 世帯

\*回答があった利用者満足度の内訳（％）



●利用者アンケートの特徴として、『満足』、『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、ほぼ満足）見ると、日常の保育内容についての「生活」についての項目が、高い満足度を示しています。特に、「給食の献立について」が、満足 75%、どちらかといえば満足 21%であり、合わせて 96%がほぼ満足を示しています。また、『満足』についても全項目の中で一番高い評価を得ています。また、「お子さんが給食を楽しんでいるか」についても、満足 73%、どちらかといえば満足 25%にて、98%がほぼ満足でした。他、『満足』の高い項目については、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」についてが、満足 67%であり、どちらかといえば満足は 27%、どちらかといえば不満 2%（1 名）、無回答 4%ありますが、ほぼ満足は 94%となっています。次いで、「お子さんが大切にされているか」については、満足 65%を得、どちらかといえば満足 23%にて、ほぼ満足は 88%であり、どちらかといえば不満、2%、不満 2%、無回答 6%の回答もあります。『満足』、『どちらかといえば満足』を合わせて評価が高い項目については、「基本的習慣の自立に向けての取り組みについて」であり、満足 73%、どちらかといえば満足 25%を示し、どちらかといえば不満 2%がありますが、96%がほぼ満足としています。また、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」については、満足 60%、どちらかといえば満足 37%、どちらかといえば不満 2%、その他 2%がありますが、ほぼ満足は 97%を得ています。「入園時の面接で、お子さ

んの様子や成育歴等を聞く対応について」でも満足 54%、どちらかといえば満足 40%であり、どちらかといえば不満 4%、不満 2%ありますが、ほぼ満足は 94%を得ています。

●アンケート自由記述からは、満足し、安心して子どもを預けられ、保育士の笑顔での挨拶、愛情を持って接してくれている、子どもが生き生きと過ごせる楽しい園、保育士を含めてグリーンポート桜木町保育園は良い園です。という声を多くいただいております、全保育士が子どもの名前を覚えてくれて、子どもも先生（保育士）が好きで喜んで通園している、行事等に保育士が熱心であり、普段の生活においても園、保育士に対して感謝の意見がたくさん挙がっています。また、活動（リトミック、英語教室）への満足や、地域のイベントへの参加についても喜びの声をいただいております。園の配慮ある保育サービスにおいて、核家族や、兄弟での通園における病欠への対処等、柔軟な対応に感謝を示す意見が挙がっており、園の温かい対応がうかがえます。

●『不満』および、満足の比較的低い項目では、「年間の保育や行事に保護者の要望が生かされているかについて」であり、満足 27%、どちらかといえば満足 42%、どちらかといえば不満 13%、不満 6%、その他 8%、無回答 4%となっており、ほぼ満足は 69%、『不満』『どちらかといえば不満』を併せて 19%という結果になっており、アンケートにも意見が挙がっています。また、「施設設備について」では、満足 38%、どちらかといえば満足 35%でほぼ満足は 72%ですが、どちらかといえば不満は 21%、不満 4%となっており、おおむね不満については 25%という結果となっています。「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」についても、満足 42%、どちらかといえば満足 35%、どちらかといえば不満 12%、不満 8%、無回答 4%となっており、ほぼ満足は 77%を得ていますが、20%がおおむね不満となっています。「園の保育目標・保育方針をご存知ですか」の設問では、「よく知っている」については 8%という結果であり、園では、理念、保育方針をしっかりと掲げ、保護者にも配付・周知を行い、方針に沿った保育の充実と体制に努めていますが、結果を捉え、今後、職員の意識統一と共に、保護者への周知の仕方等について、一考を期待しています。

●アンケートの意見では、満足が比較的低い項目に対する意見が主に挙がっており、個々の事情における配慮への要望もいただいております。園、職員への対応に満足の意見も多く挙がる中、さらなる期待として、保護者側の理解を求む意見も挙がっており、真摯に受け止めると共に、園の方針の理解を促す機会、周知の工夫をさらに検討していかれることが望まれます。保護者からの意見を基に、振り返りと見直しをする機会を持ち、園の良い点をさらに生かし、保護者のより満足・安心につながる保育の継続を期待しております。

●総合的に、『満足』は 63%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は 29%、『どちらかといえば不満』6%、『不満』2%であり、サービスの提供について、92%『ほぼ満足』していると、捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

グリーンポート桜木町保育園

【保育園の基本理念や基本方針について】

上段%、下段人数で示しています

問 1

| 利用者調査項目 |                                      | よく知っ<br>ている | まあ知っ<br>ている | どちらとも<br>いえない | あまり<br>知らない   | まったく<br>知らない | 無回答 |
|---------|--------------------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|--------------|-----|
| 1       | あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じで<br>すか。       | 8%          | 69%         | 12%           | 12%           | 0%           | 0%  |
|         |                                      | 4           | 36          | 6             | 6             | 0            | 0   |
|         |                                      | 賛同でき<br>る   | まあ賛同<br>できる | どちらとも<br>いえない | あまり賛同<br>できない | 賛同でき<br>ない   | 無回答 |
| 2       | あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できる<br>ものだと思いますか。 | 60%         | 15%         | 2%            | 0%            | 0%           | 23% |
|         |                                      | 31          | 8           | 1             | 0             | 0            | 12  |

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

|   |                                 | 満足  | どちらか<br>といえば満足 | どちらか<br>といえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|---------------------------------|-----|----------------|----------------|----|-----|-----|
| 3 | 見学の受け入れについては                    | 54% | 13%            | 2%             | 2% | 29% | 0%  |
|   |                                 | 28  | 7              | 1              | 1  | 15  | 0   |
| 4 | 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については       | 46% | 42%            | 4%             | 2% | 6%  | 0%  |
|   |                                 | 24  | 22             | 2              | 1  | 3   | 0   |
| 5 | 園の目標や方針についての説明には                | 42% | 46%            | 8%             | 0% | 4%  | 0%  |
|   |                                 | 22  | 24             | 4              | 0  | 2   | 0   |
| 6 | 入園時の面接で、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については | 54% | 40%            | 4%             | 2% | 0%  | 0%  |
|   |                                 | 28  | 21             | 2              | 1  | 0   | 0   |
| 7 | 保育園での1日の過ごし方についての説明には           | 42% | 50%            | 6%             | 2% | 0%  | 0%  |
|   |                                 | 22  | 26             | 3              | 1  | 0   | 0   |
| 8 | 費用やきまりに関する説明については               | 42% | 42%            | 8%             | 8% | 0%  | 0%  |
|   |                                 | 22  | 22             | 4              | 4  | 0   | 0   |

問 3 保育園に関する年間の計画について

|    |                                |     |     |     |    |    |    |
|----|--------------------------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 9  | 年間の保育や行事についての説明は               | 31% | 50% | 10% | 6% | 0% | 4% |
|    |                                | 16  | 26  | 5   | 3  | 0  | 2  |
| 10 | 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 27% | 42% | 13% | 6% | 8% | 4% |
|    |                                | 14  | 22  | 7   | 3  | 4  | 2  |

#### 問 4 日常の保育内容について

##### 「遊び」について

|    |                                                     | 満足  | どちらかと<br>いえば満足 | どちらかと<br>いえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|----|-----------------------------------------------------|-----|----------------|----------------|----|-----|-----|
| 11 | クラスの活動や遊びについては<br>(お子様が満足しているかどうか)                  | 54% | 37%            | 6%             | 0% | 0%  | 4%  |
|    |                                                     | 28  | 19             | 3              | 0  | 0   | 2   |
| 12 | 子どもが戸外遊びを十分しているかについては                               | 56% | 29%            | 8%             | 2% | 2%  | 4%  |
|    |                                                     | 29  | 15             | 4              | 1  | 1   | 2   |
| 13 | 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に<br>使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど) | 58% | 31%            | 6%             | 0% | 2%  | 4%  |
|    |                                                     | 30  | 16             | 3              | 0  | 1   | 2   |
| 14 | 自然に触れたり地域に係わるなどの、園外活動に<br>ついては                      | 38% | 40%            | 12%            | 4% | 2%  | 4%  |
|    |                                                     | 20  | 21             | 6              | 2  | 1   | 2   |
| 15 | 遊びを通じた友達との関わりや、保育士との関係に<br>ついては                     | 56% | 37%            | 2%             | 2% | 0%  | 4%  |
|    |                                                     | 29  | 19             | 1              | 1  | 0   | 2   |
| 16 | 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みに<br>ついては                     | 44% | 42%            | 8%             | 0% | 0%  | 6%  |
|    |                                                     | 23  | 22             | 4              | 0  | 0   | 3   |

##### 「生活」について

|    |                                              |     |     |     |    |     |    |
|----|----------------------------------------------|-----|-----|-----|----|-----|----|
| 17 | 給食の献立内容については                                 | 75% | 21% | 4%  | 0% | 0%  | 0% |
|    |                                              | 39  | 11  | 2   | 0  | 0   | 0  |
| 18 | お子さんが給食を楽しんでいるかについては                         | 73% | 25% | 2%  | 0% | 0%  | 0% |
|    |                                              | 38  | 13  | 1   | 0  | 0   | 0  |
| 19 | 基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自<br>立に向けての取り組みについては   | 63% | 33% | 2%  | 0% | 02% | 0% |
|    |                                              | 33  | 17  | 1   | 0  | 1   | 0  |
| 20 | 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されて<br>いるかなどについては         | 60% | 37% | 2%  | 0% | 2%  | 0% |
|    |                                              | 31  | 19  | 1   | 0  | 1   | 0  |
| 21 | おむつはずしは、家庭と協力しお子さんの成長に合<br>わせて柔軟に進めているかについては | 50% | 21% | 4%  | 0% | 21% | 4% |
|    |                                              | 26  | 11  | 2   | 0  | 11  | 2  |
| 22 | お子さんの体調への気配りについては                            | 62% | 25% | 8%  | 0% | 4%  | 2% |
|    |                                              | 32  | 13  | 4   | 0  | 2   | 1  |
| 23 | 保育中にあったケガに関する保育者への説明やそ<br>の後の対応には            | 52% | 31% | 10% | 6% | 2%  | 0% |
|    |                                              | 27  | 16  | 5   | 3  | 1   | 0  |

#### 問 5 保育園の快適さや安全対策については

|    |                        |     |     |     |    |    |    |
|----|------------------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 24 | 施設設備については              | 38% | 35% | 21% | 4% | 2% | 0% |
|    |                        | 20  | 18  | 11  | 2  | 1  | 0  |
| 25 | お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気については | 44% | 44% | 6%  | 6% | 0% | 0% |
|    |                        | 23  | 23  | 3   | 3  | 0  | 0  |

|    |                           | 満足  | どちらかと<br>いえば満足 | どちらかと<br>いえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|----|---------------------------|-----|----------------|----------------|----|-----|-----|
| 26 | 外部からの不審者侵入に対する備えについては     | 44% | 40%            | 10%            | 6% | 0%  | 0%  |
|    |                           | 23  | 21             | 5              | 3  | 0   | 0   |
| 27 | 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 52% | 40%            | 4%             | 4% | 0%  | 0%  |
|    |                           | 27  | 21             | 2              | 2  | 0   | 0   |

#### 問 6 園と保護者との連携・交流について

|    |                                           |     |     |     |    |    |    |
|----|-------------------------------------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 28 | 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 44% | 35% | 12% | 6% | 0% | 4% |
|    |                                           | 23  | 18  | 6   | 3  | 0  | 2  |
| 29 | 園便りや掲示などによる園の様子や行事に関する情報提供については           | 54% | 31% | 8%  | 2% | 2% | 4% |
|    |                                           | 28  | 16  | 4   | 1  | 1  | 2  |
| 30 | 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 54% | 33% | 8%  | 2% | 0% | 4% |
|    |                                           | 28  | 17  | 4   | 1  | 0  | 2  |
| 31 | 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については                 | 42% | 35% | 12% | 8% | 0% | 4% |
|    |                                           | 22  | 18  | 6   | 4  | 0  | 2  |
| 32 | お子さんの関する重要な情報に連絡体制については                   | 44% | 38% | 8%  | 4% | 2% | 4% |
|    |                                           | 23  | 20  | 4   | 2  | 1  | 2  |
| 33 | 保護者からの相談事への対応には                           | 46% | 35% | 12% | 4% | 0% | 4% |
|    |                                           | 24  | 18  | 6   | 2  | 0  | 2  |
| 34 | 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 52% | 33% | 8%  | 2% | 2% | 4% |
|    |                                           | 27  | 17  | 4   | 1  | 1  | 2  |

#### 問 7 職員の対応について

|    |                                 |     |     |    |    |     |     |
|----|---------------------------------|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 35 | あなたのお子さんは大切にされているかについては         | 65% | 23% | 2% | 2% | 2%  | 6%  |
|    |                                 | 34  | 12  | 1  | 1  | 1   | 3   |
| 36 | あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては     | 67% | 27% | 2% | 0% | 0%  | 4%  |
|    |                                 | 35  | 14  | 1  | 0  | 0   | 2   |
| 37 | アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 37% | 25% | 6% | 2% | 15% | 15% |
|    |                                 | 19  | 13  | 3  | 1  | 8   | 8   |
| 38 | 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 60% | 25% | 6% | 4% | 2%  | 4%  |
|    |                                 | 31  | 13  | 3  | 2  | 1   | 2   |
| 39 | 意見や要望への対応については                  | 54% | 27% | 6% | 4% | 6%  | 4%  |
|    |                                 | 28  | 14  | 3  | 2  | 3   | 2   |

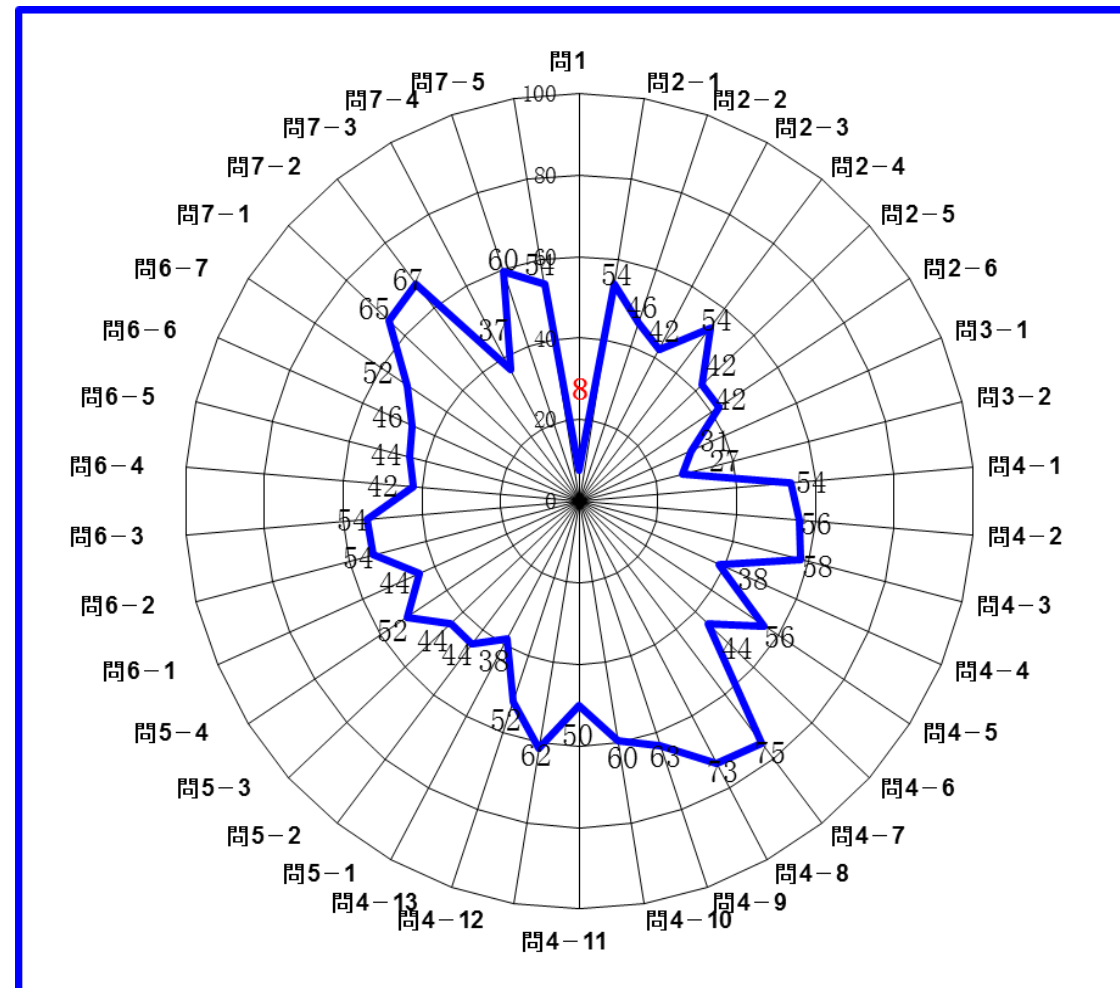
#### 問 8 保育園の総合評価

|    |        | 満足  | どちらかと<br>いえば満足 | どちらかと<br>いえば不満 | 不満 | 無回答 |
|----|--------|-----|----------------|----------------|----|-----|
| 40 | 総合満足度は | 63% | 29%            | 6%             | 2% | 0%  |
|    |        | 33  | 15             | 3              | 1  | 0   |

# 保護者アンケート調査結果 (設問別 「満足度」 総合)

(注) レーダー数値は設問別「満足度」回答率(小数点以下は四捨五入)

|         |                            |                                                                        |
|---------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象園舎: | 社会福祉法人ちとせ交友会 グリーンポート桜木町保育園 | 横浜市西区桜木町 7-42                                                          |
| 回答世帯数:  | 73 世帯中 52 世帯               | <0 歳児(8 世帯)、1 歳児(10 世帯)、2 歳児(9 世帯)、3 歳児(11 世帯)、4 歳児(11 世帯)、5 歳児(3 世帯)> |
| 定 員 :   | 80 名                       | 調査期間: 2017/01/06 ~ 2017/01/31                                          |



## 事業者コメント

施設名：グリーンポート桜木町保育園

園長名：上原 礼子

### <評価に取り組んだ感想>

作業には多くの時間を費やし、大変に感じる場所もありましたが、園として整備がなされていない点、周知が徹底できていない点など改めて気付くことがあり、取り組みを通して職員間での共通認識を深めることができました。

2日間の訪問調査には緊張をもって臨みましたが、評価調査員の方々が、好意的な受け取りや理解を示して下さい、和やかに聞き取りが進んだ印象です。その中で、課題だけでなく当園の良い点も多く引き出して頂いたことで、自信につなげることができました。

### <評価後取り組んだ事として>

職員で評価を見直し、今後力を入れて取り組むべき課題を探りました。

さらなる改善が望まれる点として、実習生・ボランティアの受け入れ強化がありましたが、申し込は確実に増えており、積極的に受け入れを行っています。

今回の評価を指針とし、地域や保護者の方々から信頼され、当園が心安らぐ場所となれるよう、職員一丸となって精進していきたいです。